

トラック7

キャラクター感：主人公の前では今まで見せてこなかったような、

きちんとした、王妃としての像を描く

プレイ内容：キス↓フェラ↓セックス 駅弁からのバック、オホ声

【位置：中 距離感：やや近】

……来てくれて、ありがとうございます。お兄さん。
道中、怪我や道に迷ったりは……。

……。それなら、よかったです。

すみません、本来であれば、私の方からお迎えにいくべきなのに……。
……いろいろと、準備する必要があります。

(甘い感じで)

……。あの、これ。この服……。

お兄さんに見せるのは、初めてですよね。

純白なレオタードと、ウェディングベール……。

……胸を強調するように、あいていて……。

どう、でしょうか……？

似合ってますか……？

……。ん、嬉しい、です。

(噛みしめるような)

私、こういう派手な服を着ると、ソワソワしちゃって。

今まで苦手……。だったんですけど、

お兄さんに喜んで貰えるなら、悪く、ないです。

【距離：密着】

お兄さん、好き……。

んっ……。♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡えろえろ♡えろ♡んちゅっ♡
はぁ……♡はぁ……♡

【距離…近】

（少し距離を置く）

ふう……。

今日のこと、すでにご存知ですよね。

（落ち着いた感じで）

……ん。

今からこの幕の向こうにいる、国民の前で……。

好き好きって、言いながらのえっちをして……

私たちサキュバスと人間が、愛し合って、

共存することが可能であることを示すんです……。

もし伝わらずに、このままであれば、私たちは絶滅の一方……。

それは、人間も同じこと……。

そんな状態を免れるために……。

いえ、今の私たちとして、過去の争いを乗り越えて、

愛し合える関係になれることを、教えるために……。

私たちのセックスを、見てもらうんです。

じゃ。行きましょうか。

【距離…密着】

んっ……♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡んちゅっ♡えろえろ♡えろ♡

はぁ……♡

～フェードアウト

転換

SE: 外の環境音、群衆の声

★く以降、お姫様として、しっかりと落ち着いたキャラクターのようにスピーチ。

【位置：やや左 距離：近】

……ん。

国民の皆様、こんにちは。第一王女のセシリアです。

本日このようにお集まりいただきましたのは、ほかでもありません。

私と、こちらのお兄さん。人間との関係を皆様に見てもらうためです。

SE: 群衆、ぎわめき

……落ち着いてください。

この国の現状について、皆様も理解しているはずです。

私たちはもう、貯蓄されている精液だけでは、生きていけないということを……。

価値観を捨て、人間と共存していく必要があるということを……。

ただ、それは難しいこと……。

何十年何百年と、続いてきた伝統を捨てるのと同じこと、ですから……。

それに、争いの跡は今も、街中に見られます。

この環境と共に過ごした時間は、かえがないものであり、

それを否定することは、私たちの存在そのものを、否定するかのよう感じられるかも知れません。

ですが、私はその道を歩む決意をしました。

私が先頭に立ち、この新たな価値観を受け入れることができると、皆様に示したいのです。

王女として、この国を担う者として、私が身をもって証明します。
共存への第一歩を。

く★

それでは。

【位置：中 距離：密着】

★く主人公にのみ聞こえるような声で、甘い感じで囁く

んっ…………♡お兄さん…………♡

んっ…………♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡んちゅっ♡えろえろ♡えろ♡

はぁ…………♡

お兄さん…………。

私…………。

ちゃんとお姫様、来ていますか？

…………ん。ありがとうございます。

もう緊張で、足元もおぼつきませんが、お兄さんが支えてくれるから…………。

…………好き、お兄さん、好き…………。

んっ…………♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡んちゅっ♡えろえろ♡えろ♡

はぁ…………♡

皆様。こちらにくぎ付けです…………。

中には怪訝そうな顔を浮かべている方や、好奇心から釘付けになっている方も…………。

しばらくは辛いとは思いますが…………。

私たちの好きを見せていれば、分かってくれと信じてますから…………

もっど、キス…………。

んっ…………♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡んちゅっ♡えろえろ♡えろ♡

はぁ…………♡

く★

★く通常音量に戻り、国民に目を配りながら、見せつけるように

…………皆様、どうでしょうか…………？

人間との逢瀬の際は、まず、口づけから始めます。

唾液を交換することで、お互いの熱を感じ、ひとつに溶けていく感覚を味わいます。

んっ…………♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡んちゅっ♡えろえろ♡えろ♡

はあ…………♡

ひとつになった私たちは、相手の中に自分の存在を感じて、愛情が生まれるんです……。

今はまだ、皆様には馴染みがないと思いますが。

私も、人間に……お兄さんに、教えてもらいました……。

ゝ★

★ゝ再度、主人公にのみ聞こえるように、囁きちゅっちゅ

お兄さん、好き…………♡

んっ…………♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡んちゅっ♡えろえろ♡えろ♡

はあ…………♡

お兄さん、息……あったかい。

そろそろ、おちんぼ、大きくなりますか…………？

んっ…………♡

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡んちゅっ♡えろえろ♡えろ♡

はあ…………♡

はあ…………♡はあ♡

ゝ★

★ゝ再度、通常声量に戻り、国民に目を配りながら、見せつけるように

んっ…………。

御覧ください。

こちら、男性器……。

人間の言葉だとおちんぼ、と云います。

愛情を確かめあう口づけをしていると、こちらが反応します。

お兄さん、こちら。脱がせますね。

失礼します…………。

んっ……。

（左耳囁き、無声音）

皆様、このおちんぽに釘付けですね。

初めてみたおちんぽに、興味津々のようです。

私たちは本能では、これに、夢中になってしまいますから……♡

★〈通常声量に戻り、国民に目を配りながら、見せつけるように〉

御覧いただけましたでしょうか。

外気でぴくぴくと震えてるおちんぽ。

すでに大きい状態ではありますが、セックスをする前に、ひとつ、挨拶をする必要があります。

（一息のむ）

……。

皆さん知つての通り、人間は感情を持つ生き物ですから、行為に及ぶ前に、人間の心を煽るんです。

これは……。手や口を使ったり、道具を使ったり……。

千差万別ですが、今回は口でします。

その方が、愛情を伝えられると思いますので。

〜★

（右耳囁き、無声音）

おちんぽ、ぴくぴく震えてますよ……？

期待、してるんですか？

皆様の前で、お兄さんの、丸のみされるの……。

いつもより、激しくしてあげますから……。

(しゃがみこむ)

んっ……。

アドリブ:(バキュームフェラ激しめ25秒)

(啜えながら)

んっ……。おちんぼ、口の中でむくむくと反応してます。

お口の中、あったかいですか？

もつと、喉の奥まで、お兄さんの。感じたいです……。

アドリブ:(バキュームフェラ激しめ25秒)

(咳き込んで口から離す、無声音)

けふっけふっ、失礼しました。

お兄さんのが愛おしくて、つい。

大丈夫です、心配しないで……。

アドリブ:(バキュームフェラ激しめ、30秒)

アドリブ:(玉舐め20秒 ちゅっばっのような音をいれつつ)

(呼吸を整えて、ゆっくり、立ち上がってから)

ふう……。

【位置::やや左 距離::近】

こんなところでしょいか。

先ほどより、おちんぼが大きく、熱も持っていることが、分かるでしょうか。これを感じれたら、セックスに移行できます。

愛の究極系。お互いの身体を貪るセックス……。

おちんぽを、おまんこの一番奥にあてて……
相手の存在を、自分の中に感じるんです。

本来であれば、女性側もおまんこが濡れている必要がありますが、
私たちサキユバスは常に、潤滑油となる媚薬液で溢れていますから、
そのまま挿れてしまっても大丈夫です。

……ん。

お兄さん。

このまま、向き合ったままで、良いですか？

……。じゃ。挿れますね。

【位置：前 距離：密着】（駅弁のような体位）
このまま、おまんこのところをずらして……。

んっ……

んっ……。

SE:挿入

はあああっ♡はあ……♡はあ……♡

はあ……はあ……

【位置：やや左 距離：密着】

★く国民に見せつけるように。オホ声はゆっくり、

（力みながら、息を吸うように）

全部、入りました。見えます、でしょうか……っ。

私のおまんこが、おちんぽを根本まで包みこんでいる様子……。

んんんっ♡んっ♡んっ♡

はあ……♡……えあ♡おっ♡おっ♡おっ♡

はあ……♡はあ……♡

たしかに、最初は痛みを感じますが……。

しばらくすれば、それにも慣れていきます……。

私はもう、おちんぼを挿れるだけで、快感を強く感じるように、んあっ♡なりましてっ。



おっ♡んあ♡あう♡おおっ…♡

すう……はあ……♡

【位置：左 距離：密着】

★く有声音囁き 左耳

お兄さん、どうですか……？
本日の、おまんこ……。

んっ♡おっっ♡

ふう……♡

いつもより、温かいですか……？

私……。先ほどからずっと、濡らしていたんです……。

んっ……♡

お兄さんとすることが、楽しみで……。

生まれ変わった私を見てもらえることが嬉しくて……。

もっと、奥まで……。

お兄さん、好き……♡

アドリブ…(舌を絡ませるキス 激しめ15秒)

緊張で、おまんこ。しめちゃって……。

おちんぼの形が、はつきりと……。

このくぼみ、とか、皮の段差とか、曲がり具合とか……。

全部……、んあっ♡お兄さん、だけの……♡

んおっ♡うっ♡んおっ♡

んおっ♡おっ♡うっ♡うっ♡うっ♡

……えあ♡はあ……♡

私のおまんこの形も、わかりますか……？

一生懸命に、このおちんぼに……んっ♡おっ♡

絡みつくヒダヒダの数……っ♡

奥の広さ……っ♡

んっ♡んあ♡

もっ……感じてほしい、です……。

ん……♡

アドリブ…(舌を絡ませるキス 激しめ15秒)

はあ………♡

ゝ★

★ゝ国民に見せつけるように。オホ声はゆっくり、

見て、いただけていますでしょうか……。

口づけをしながら、んっ♡んあっ♡おちんぽをハメて……

身も心、も……っ捧げ合う私たちの、姿……っ♡

んおっ♡うう♡んおお♡♡

……えあ♡はあ………♡

たとえ、敵意を持っていた相手であったとしても、

いつかはこうして、分かりあえるんです……っ♡

好き好きと、愛情を確かめて、おまんこすることだって……。

全部……おおっ♡お兄さんが、教えてくれました………♡

皆さんも、少し歩み寄れば………おおっ♡おおっ♡

はあ………♡はあ………♡

おっ♡おっ♡あっ♡えあっ♡えあ………っ♡

はあ………♡

ん………♡

アドリブ…(舌を絡ませるキス 激しめ20秒)

はあ………♡

ゝ★

★く呼吸を整えつつ有声音囁き 左耳

はあ……………♡はあ……………♡

お兄さん、皆様の表情、すこし和らいで来ました……。

きつと、私たちの愛が、伝わりかけているのだと思います……………♡

ん……………♡

アドリブ…(舌を絡ませるキス 激しめ20秒)

はあ……………♡

はあ……………はあ……………♡

【位置…やや左 距離…密着】

★くゆつくり、さそうような有声音囁き

あの、お兄さん……………。

もう少し、激しく、してみませんか？

……………はい♡

後ろから、突いてほしいんです……………♡

この体勢だと、イチャイチャは伝えられますが、迫力にはかけてしまいますので……………。
最後の決め手として、激しく、私を犯してください……………♡

それに、私自身も……………。先ほどから……………♡

お兄さんに激しくしてもらいたくて……………

おまんこ、震わせてしまってるんです……………♡

いい、ですか……………？

んっ、ありがとうございます……………♡

【位置：中 距離：密着】

ん……♡

アドリブ：（舌を絡ませるキス 激しめ15秒）

はぁ……♡

【位置：中 距離：近】

（ゆっくり、媚びるように）

はぁ……♡ふう……♡

では私……。

お兄さんにお尻、向けて……。

おちんぼ、誘いますので……。

挿れてください……。

既に感じ過ぎて……サキュバス愛液を垂らしている私のおまんこ……。

後ろから、犯してください……♡

お兄さんの、欲しい、です……♡

★く喘ぎ声激しめ、しっかりとしたオホ

んっ……♡

んんんッ♡んんん♡

はぁ……♡はぁ……♡

おおっ♡おおっ♡おおっ♡

んおお♡おお♡おお♡おお♡

っはぁ……♡はぁ……♡

おおっ♡おおっ……♡

はぁ……♡はぁ……♡

これ、気持ちいいっ……♡

おおっ♡おおっ♡

入ってるのが、見えないから……っ♡

お兄さんのを感じようと、私のおまんこ……っ♡
勝手に、しめちゃって……っ♡

んっ♡んあ♡あ♡あ♡あああ♡

えあ……っ♡

はあ……♡はあ……♡

さきほどよりも……っ♡

おちんぽの形が、伝わります……っ♡

大好きな、お兄さんのっ……っ♡

おっ♡おっ♡おっ♡

ああっ♡はあっ♡はあ……っ♡

だめ、これ……っ♡

見えないはずなのに、ずっと……んっ♡んおっ♡

お腹の中のおちんぽのことしか、頭に浮かばない……っ♡

おっ♡おっ♡

んふうっ♡んふうっ♡

んあ♡あう♡おっ♡

おふっ♡あうっ♡あううっ♡

皆様に、教えなきゃ……なのにつ♡

愛の、大切さ……っ♡んっ♡はあ♡はあ♡

私の気持ち良い、ところ……っ♡

おっ♡おっ♡おっ♡

ついてくれる、お兄さんの事しか……っ♡

考えられな……っ♡



★くオホ声を一番激しく、舌を出して感じてるような声、最後まで

おっ♡おっ♡おっ♡

おおおっ♡おふっ♡おふっ♡
あぁっ♡はぁっ♡はぁ……♡

これ、気持ち、良すぎて……っ♡
あぁっ♡……はぁっ♡
はぁ……♡はぁ……♡
顔も、上げられない……♡

おふんっ……♡
皆様、申し訳……ございませ、んっ♡
でも、これは、仕方がないこと、なんです……っ♡
んっ♡んぁっ♡はぁ……♡

私たちサキユバスは、本来……っ♡
んっ♡んおっ♡おっ♡おお、
はぁ……っ♡はぁ……♡

こうやって、おまんこをして、生きて来たんですから……っ♡

一度、おちんぽを挿れてしまうと、
おっ♡おおっ♡
本能が、それを思い、出してしまっ……っ♡

んっ♡んふっ♡
奥にあたる度に……っ♡
頭の中、幸せでいっぱいになって……♡
えぁ……♡あぁ♡はぁ……♡はぁ……♡
真っ白になってしまっ……♡

おっ♡おっ♡あう♡うへっ♡
んふっ♡はぁ……♡はぁ……♡

お兄さんに、んっ♡腰……
ぱんぱんと打ち付けられる度に……♡

お兄さんに教えてもらった、

んあっ♡あうっ♡おっ♡おおっ♡

幸せ……♡たくさん……♡

好き……っ♡

おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡

んんっ♡んぐっ♡んあっ♡んおっ♡

おっ♡おっ♡

ああ♡えあ♡

お兄さん、腰、激しっ……ですっ……♡

んぐっ♡んっ♡おっ♡

お兄さんも、幸せ、ですか……？

んっ、うれしっ♡

おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡……♡

ああ♡はあ……♡

おちんぽも、ぴくぴくして……っ、

そろそろ、出しますっ、かっ？

おっ♡おっ♡おっ♡ああ♡えあ♡はあ……♡

んっそのまま……んっ♡出してへんだよっ

んおっ♡おっ♡おっ♡おっ♡っ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡

皆様の前で……っ♡

えあっ♡ああ♡あっ♡

王女の私をっ、……んぐっ♡孕ませてへんだよっ……♡

おっ♡おっ♡おっ♡っ♡

愛の結晶、お兄さんとの子を授かりたい、ですっ♡

おっ♡おっ♡おっ♡

ああ♡えあ♡あう……♡あう……♡

……やっぱり、お兄さんは変わってます……。

とろとろに包まれたほうが、気持ちよさそうなのに。

ふう……はぁ……。

落ち着いてみると、

皆様の視線、すごいです。

こんな注目を浴びながら、私たち、してたんですね……。

……ん。お兄さんと繋がったまま、足震えて……。

もう、歩けません……。

ふう……。。

最後に挨拶だけ、します……。

そのまま、繋がったままで……お願いします。

一人じゃ、無理なので……。

